

野菜類-なす科果菜類-トマト-殺菌剤

※農業の使用に際しては、必ず農業のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																	
					うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	葉かび病	苗立枯病	疫病	かいよう病	軟腐病	斑点細菌病	輪紋病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	斑点病	萎凋病	褐色輪紋病	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類
31 バルミノ		普	キノキサリン系	EUN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
32 パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33 パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34 ピクシオDF		普	フェンピラザミン	17	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35 ビシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36 ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
37 フルピカフロアブル		普	メバニピリム	9	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38 ブロパティフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39 プロポーズ顆粒水和剤		普	1.TPN 2.ベンチアバリカルブイソプロピル	M5、40	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 ベルクートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41 ベンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
42 ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
43 ホライズンドライフロアブル		普	1.シモキサニル 2.ファモキサダン	27、11	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44 ポリオキシシAL水溶剤		普	ポリオキシシ	19	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45 マイコシールド		普	オキシテトラサイクリン	41	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46 モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	EUN F:M10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
47 ライメイフロアブル		普	アミスルプロム	21	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48 ラミック顆粒水和剤		普	1.イミノクタジン 2.ピリオフェノン	M7,50	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49 ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50 リドミルゴールドMZ		普	1.マンゼブ 2.メタラキシル及びメタラキシルM	M3、4	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51 レーバスフロアブル		普	マンジプロバミド	40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52 ロブラール500アクア		普	イプロジオン	2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53 ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-

野菜類—なす科果菜類—ミニトマト—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名													
						うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	葉かび病	疫病	かいよう病	斑点病	輪紋病	萎凋病	トマトサビダニ	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類
27	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
28	フェスティバル水和剤		普	ジメトモルフ	40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
29	フルピカフロアブル		普	メパニピリム	9	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	プロパティフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリカルブイソプロピル	M5、40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
32	ペンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	-	○	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-
33	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
34	ホライズンドライフロアブル		普	1. シモキサニル 2. ファモキサドン	27、11	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
35	ライメイフロアブル		普	アミスルブロム	21	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
36	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
37	レーバスフロアブル		普	マンジプロバミド	40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
38	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-

野菜類—ミニトマト—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名													
						オオタバコガ	ミカンキイロアザミウマ	コナジラミ類	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	トマトサビダニ	ハモグリバエ類	ハダニ類	マメハモグリバエ	トマトハモグリバエ	ナミハダニ	アザミウマ類	ネコブセンチュウ	うどんこ病
26	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
27	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
28	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメキン	34	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-
30	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	プリロッソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプロール	28	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-
32	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
33	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
34	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-
35	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
36	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-
37	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
38	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェヌロン	15	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-
39	マトリックフロアブル	抑制	普	クロマフェノジド	18	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
41	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-
42	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-
43	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-

13-(8・9) トマト・ミニトマト（野菜類、なす科果菜類に登録のある農薬も使用可能）

※トマトとミニトマトは農薬登録上、別の作物であるので注意する。

病害虫名	防除方法	参考事項
疫病	植付前 1. ジャガイモ畑の付近や跡地での栽培を避ける。 2. 低湿地は、暗渠排水を行う。 生育期 1. 換気、通気を良好にし、湿度の低下を図る。 2. 敷きワラを行う。 3. 窒素肥料の過剰施用を避ける。	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌の発育適温は20℃、多湿時に多発する。 葉の結露時間が6時間以上で発病しやすい。 露地抑制栽培に発生が多い。 育苗期の防除を徹底する。 降雨が多い時期は、雨の合間をみて2～3日毎に薬剤散布する。 地際部にも適用薬剤がかかるように散布する。
葉かび病	植付前、生育期 1. 抵抗性品種を使用する。 2. ハウス、トンネル内は、換気をよくする。 3. 密植、過かん水を避ける。 4. 肥料切れをさせない。 5. 薬剤散布は予防に重点をおき、ローテーション散布を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 22℃の適温下、湿度90%以上の多湿条件下で発生する。 潜伏期間が14日くらいあり、発病後の散布は効果が劣るため、予防散布を行う。 抵抗性品種であっても、病原菌の系統（レース）によっては発病する場合があるので注意する。
すすかび病	生育期 1. ハウス、トンネル内は、換気をよくする。 2. 密植、過かん水を避ける。	<ul style="list-style-type: none"> 症状はトマト葉かび病に似ていて、肉眼での診断は困難だが、光学顕微鏡下で分生子を観察することで容易に判別できる。
輪紋病	生育期 高温多湿条件を避ける。	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌の発育適温は26～28℃。
灰色かび病	生育期 1. ハウス、トンネル内は、換気をよくする。 2. ハウスは、全面マルチを行う。 3. 枯死花卉の除去（花びら取り）を行う。 4. 被害花、果実を早期に処分する。 4. 循環扇や送風ダクトによる送風（ハウス内空気の循環）を行う。 5. 薬剤耐性菌がしやすいので注意する。 （果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照）	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の湿度を95%以下、1日当たりの結露時間を5時間以内に制御すれば発病を抑制できる。 被害花、果実の処理は、肥料の空き袋などに入れ、密封しておくとも病原菌は死滅する。 果実ではしばしば径1～2mmの黄白色円形の小斑点（ゴースト・スポット）を生じる。
菌核病	生育期 1. ハウス、トンネル内は、換気をよくする。 2. 被害花、果実を早期に処分する。	<ul style="list-style-type: none"> 被害花、果実の処理は、肥料の空き袋などに入れ、密封しておくとも病原菌は死滅する。
斑点細菌病	生育期 1. 曇雨天の時は、芽かき、葉かきを避ける。 2. 芽かき、葉かきの後や降雨後に適用薬剤を散布する。	
かいよう病	生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 芽かき、葉かきの後や降雨後に適用薬剤を散布する。 3. 発病株から健全株への二次伝染を防止するため、栽培資材やハサミなどは資材消毒する。 （資材消毒の項参照） 4. 抵抗性台木に接ぎ木する。（表を参照）	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌は土壌および種子伝染する。 芽かき跡などの傷口から病原菌が侵入する。 刃先を高温で自動除菌するハサミが市販されている。

病害虫名	防除方法	参考事項
うどんこ病	生育期 1. 多発後の防除は困難なため、早期に適用薬剤を散布する。 2. 過繁茂にしない。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・葉にはじめ白色の円形病斑ができ、やがて拡大し葉全体を覆い、小麦粉を振りかけたようになる。日数が経過すると、葉面は灰白色で汚れた感じになる。施設栽培で多発すると下葉から枯れ上がり大きな被害となる。 ・施設栽培の乾燥条件下での発生が多く、分生子の発芽適温は20～25℃で、10月～11月および3～6月に多発する。
萎凋病 根腐萎凋病 青枯病 褐色根腐病 半身萎凋病	植付前 1. 露地栽培の発病地では、輪作を行う。 2. 抵抗性品種を導入する。(表を参照) 3. 抵抗性台木に接ぎ木する。(表を参照) 4. 土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項、太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項、土壌還元消毒法による土壌病害虫防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・未熟有機物を施用すると発病を助長する(特に萎凋病)。 ・ネコブセンチュウ類は土壌病害を助長する。 ・病原菌発育適温 萎凋病 (<i>Fusarium</i>) 27～28℃ 根腐萎凋病 (<i>Fusarium</i>) 10～20℃ 青枯病 (<i>Ralstonia</i>) 35～37℃ 褐色根腐病 (<i>Pyrenochaeta</i>) 13～18℃ 半身萎凋病 (<i>Verticillium</i>) 22～25℃ ・青枯病は、かいよう病同様芽かき跡などの傷口から病原菌が侵入する。
モザイク病 (TMV)	植付前、生育期 1. 抵抗性品種を用いる。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・病原ウイルスは接触伝染性が強く、また土壌および種子からも伝染する。 ・葉にモザイクを生じ、葉の先端が細くなることがある。茎、葉、果実にえそを生じることがある。季節により萎凋を生じることもある。 ・TMV抵抗性品種は萎凋病の項を参照。
モザイク病 (CMV)	播種前 周辺の雑草は、本病発生源となるため除去する。 育苗期、生育期 1. 苗床、施設の開口部は防虫ネットで被覆する。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 4. アブラムシ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼苗時に感染すると被害が大きい。 ・CMVの感染により、果実の硬化、白すじが入ることがある。
黄化えそ病 (TSWV)	播種前 周辺の雑草は、本病発生源となるため除去する。 生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 3. アザミウマ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、ミカンキイロアザミウマの防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・本ウイルスは、多くの植物に感染する。 ・葉にえそ斑点、茎にえそ条斑を生じるが、CMVによる症状との区別が難しい。
茎えそ病 (CSNV)	植付前 本病原ウイルスはキクにも感染するため、施設へのキクの持ち込みや、ほ場の周囲の不要なキクは処分する。 (黄化えそ病の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は、茎に明瞭なえそ、葉に退緑・えそ症状が発生し、上記のトマト黄化えそウイルス(TSWV)によるトマト黄化えそ病に酷似している。そのため、外見での判別は困難だが、遺伝子診断による判別は可能である。

病害虫名	防除方法	参考事項
黄化葉巻病 (TYLCV)	(野菜・花きのウイルス病防除対策の項、トマト黄化葉巻病防除対策の項、コナジラミ類防除対策の項参照)	
黄化病 (ToCV)	植付前、生育期 1. 周辺の雑草は、コナジラミ類の発生源となるため除去する。 2. 発病株は、早期に抜き取り処分する。 3. コナジラミ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、コナジラミ類防除対策の項参照)	・発病の初期には、葉の一部の葉脈間が退緑黄化し、黄斑を生じる。症状が進展すると葉脈に沿った部分を残して葉全体が黄化し、葉巻症状やえそ症状が現れる。下位葉で比較的重症化する傾向があり、症状は生理障害(苦土欠乏症)によく似ている。
コナジラミ類	(コナジラミ類防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	
アザミウマ類	植付前、育苗期、生育期 1. 施設内および周辺の雑草は寄生植物となるため除去する。 2. 苗による持ち込みに注意し、健全苗を用いる。 3. 苗床、施設の開口部は防虫ネットで被覆する。 (ミカンキイロアザミウマの防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	・ヒラズハナアザミウマによる白ぶくれ果の被害が多い。
トマトサビダニ	生育期 体長が0.18mm前後と極小であり、発見が遅れやすいので、適用薬剤で予防散布を行う。	・1世代の経過時間は、25℃では6~7日、20℃では10~14日と非常に短い。また、乾燥を好み、低湿度の方が1世代経過時間が短く、産卵数も多い。 ・マルハナバチや天敵を使用しているほ場で、殺虫剤の使用回数が減った場合に発生しやすい。 ・寄生後症状が現れるまでに1ヵ月程度かかるため、発見が遅れると被害が著しい。
ネコブセンチュウ	植付前 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	・土壌線虫の死滅温度は49~53℃(湿熱30分間)。
立枯病	生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 栽培終了後、培土や培地内の残渣を取り除く。 3. 過度のかん水を避けると共に、ほ場内の排水対策を徹底する。 4. 定植前の土壌消毒の時間を十分長くとる。	・葉の黄化や萎れが発生し、最終的に枯死する。地際部には、褐変やひび割れが見られ、茎の内部は黒褐色に腐敗する。 ・地際部や露出根部の罹病部表面に赤~橙色の子のう殻が形成される点の特徴
フザリウム株腐病	生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 栽培終了後、培土や培地内の残渣を取り除く。 3. 発病株から健全株への二次伝染を防止するため、栽培資材やハサミなどは資材消毒する。 (資材消毒の項参照) 4. 定植前の土壌消毒の時間を十分長くとる。	・主根の表面に淡褐色で不整形の病斑が形成され、次第に褐変腐敗した大型の病斑となり、地際部付近の茎の褐変腐敗となって現れる。葉は下葉から黄化し、次第に萎凋、枯死する ・土壌病害であるが、摘葉に伴う茎の傷口から感染・発病する場合もある。

病害虫名	防除方法及び参考事項													
萎凋病 根腐萎凋病 青枯病 褐色根腐病 半身萎凋病	トマト品種の土壌病害抵抗性及び耐病性													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th>F1</th> <th>F2</th> <th>F</th> <th>B</th> <th>V</th> <th>CF</th> <th>N</th> <th>Cmm</th> <th>TYLCV</th> <th>TMV</th> <th colspan="2">TMV 抵抗性遺伝子</th> </tr> </thead> </table>	品 種	F1	F2	F	B	V	CF	N	Cmm	TYLCV	TMV	TMV 抵抗性遺伝子	
	品 種	F1	F2	F	B	V	CF	N	Cmm	TYLCV	TMV	TMV 抵抗性遺伝子		
	【大玉トマト】													
	桃太郎8	○	○		○	○		○			○	Tm-2 ^a /+		
	桃太郎なつみ	○	○			○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a		
	桃太郎ファイト	○	○	○	○	○	○Cf4	○			○	Tm-2 ^a		
	桃太郎はるか	○		○		○		○			○	Tm-2 ^a		
	桃太郎サニー	○	○		○	○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a		
	CF 桃太郎はるか	○		○		○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a		
	CF 桃太郎ヨーク	○	○	○		○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a /+		
	桃太郎ワンダー	○	○		○	○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a		
	桃太郎ネクスト	○	○	○		○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a		
	TTM-105	○	○	○		○	○Cf9	○		○	○	Tm-2 ^a		
	マイロック	○	○		○	○	○	○			○	Tm-2 ^a /+		
	麗 容	○	○			○	○Cf5	○			○	Tm-2 ^a /+		
	麗 夏	○	○			○	○	○			○	Tm-2 ^a /+		
	麗 月	○	○	○		○	○	○			○	Tm-2 ^a		
	麗 妃	○	○	○		○	○	○		○	○	Tm-2 ^a		
	ごほうび	○	○	○		○	○	○			○	Tm-2 ^a /+		
	りんか409	○	○			○	○	○			○	Tm-2 ^a /+		
	ソプラノ	○	○	○		○	○	○			○	Tm-2 ^a		
	ハウスパルト	○		○		○	○	○			○	Tm-2 ^a		
	甘しずく	○										+/+		
	レディーファースト	○		○							○	Tm-2 ^a /+		
	みそら64	○	○			○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a		
	桃太郎ピース	○	○	○		○	○Cf9	○		○	○	Tm-2 ^a		
	【中玉トマト】													
	フルティカ						○Cf9	○			○	Tm-2 ^a		
	シンディースイート	○	○	○			○	○			○	Tm-2 ^a		
レッドオーレ	○									○	Tm-2/+			
シシリアンルージュ	○				○					○	Tm-1			
F1: 萎凋病レース I F2: 萎凋病レース II F: 根腐萎凋病 B: 青枯病 V: 半身萎凋病 CF: 葉かび病(Cf4、Cf9はそれぞれ葉かび病抵抗性遺伝子 Cf-4、Cf-9を有する) N: ネコブセンチュウ Cmm: かいよう病 TMV: タバコモザイクウイルス TYLCV: 黄化葉巻病(○はイスラエル系統・イスラエルマイルド系統の両方に耐病性をもつ)														
ミニトマト品種の土壌病害抵抗性及び耐病性														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th>F1</th> <th>F2</th> <th>F</th> <th>B</th> <th>V</th> <th>LS</th> <th>CF</th> <th>N</th> <th>Cmm</th> <th>TYLCV</th> <th>TMV</th> <th colspan="2">TMV 抵抗性遺伝子</th> </tr> </thead> </table>	品 種	F1	F2	F	B	V	LS	CF	N	Cmm	TYLCV	TMV	TMV 抵抗性遺伝子	
品 種	F1	F2	F	B	V	LS	CF	N	Cmm	TYLCV	TMV	TMV 抵抗性遺伝子		
コ コ	○					○		○			○	Tm-2 ^a		
TY千恵	○							○		○	○	Tm-2 ^a		
TTM-071	○					○	○Cf9	○		○	○	Tm-2 ^a		
アイコ	○	○					○	○			○	Tm-2 ^a /+		
イエローアイコ							○	○			○	Tm-2 ^a /+		
サンチェリーピュア	○	○					○	○Cf9			○	Tm-2 ^a		
イエローミミ	○										○	Tm-2		
ラブリー藍	○	○	○		○		○Cf9	○			○	Tm-2 ^a		
プチキュア	○	○			○			○		○	○	Tm-2 ^a		
TY花鳥風月	○	○			○	○	○	○		○	○	Tm-2 ^a		
F1: 萎凋病レース I F2: 萎凋病レース II F: 根腐萎凋病 B: 青枯病 V: 半身萎凋病 LS: 斑点病 CF: 葉かび病(Cf9は葉かび病抵抗性遺伝子 Cf-9を有する) N: ネコブセンチュウ Cmm: かいよう病 TMV: タバコモザイクウイルス TYLCV: 黄化葉巻病(○はイスラエル系統・イスラエルマイルド系統の両方に耐病性を持つ)														

病害虫名	防除方法及び参考事項																																																																																																																																																																																																																									
萎凋病 根腐萎凋病 青枯病 褐色根腐病 半身萎凋病	<p>台木用品種の土壌病害抵抗性及び耐病性</p> <table border="1" data-bbox="331 282 1434 831"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th>F1</th> <th>F2</th> <th>F3</th> <th>F</th> <th>B</th> <th>K</th> <th>V</th> <th>N</th> <th>Cmm</th> <th>TMV</th> <th>TMV 抵抗性遺伝子型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bバリア</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>9</td> <td>1</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>ボランチ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>グリーンガード</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>グリーンセーブ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>グリーンフォース</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>プロテクト3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>マグネット</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a/Tm-2</td> </tr> <tr> <td>ブロック</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a/Tm-2</td> </tr> <tr> <td>フレンドシップ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a/Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>バックアタック</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>アシスト</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>がんばる根 -11号</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2</td> </tr> <tr> <td>がんばる根トリパー</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2</td> </tr> <tr> <td>デュエット○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-1/Tm-1</td> </tr> <tr> <td>キングバリア</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> </tbody> </table> <p> F1: 萎凋病レースⅠ F2: 萎凋病レースⅡ F3: 萎凋病レースⅢ F: 根腐萎凋病 B: 青枯病 K: 褐色根腐病 V: 半身萎凋 N: ネコブセンチュウ Cmm: かいよう病 TMV: タバコモザイクウイルス B、K: 弱 1 ←→ 10 強 (各メーカーカタログから) </p> <p> トマトTMV抵抗性 ・Tm-1型: 保毒型抵抗性、全身感染してもウイルスの増殖を抑制する。 ・Tm-2型: 過敏型抵抗性、局所的なエソを生じて全身感染を防止する。 </p> <p> TMV抵抗性の強弱 (弱い) Tm-1型 < Tm-2型 < Tm-2^a型 (強い) Tm-2^a/+ (ヘテロ) < Tm-2^a/Tm-2^a (ホモ) </p> <p> トマト(穂)・台木品種のTMV抵抗性と接ぎ木の可否 </p> <table border="1" data-bbox="336 1227 1326 1391"> <thead> <tr> <th></th> <th>穂</th> <th>罹病性またはTm-1型</th> <th>Tm-2型</th> <th>Tm-2^a型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>台木</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>罹病性またはTm-1型</td> <td></td> <td>○</td> <td>△1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>Tm-2型</td> <td></td> <td>△2</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Tm-2^a型</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p> ○は可、×は不可 △1: 台の感染により、全身ネクロシスを軽度だが生じるおそれがある。 △2: 穂の感染により、株全体の生育不良を生じるおそれがある。 </p>	品 種	F1	F2	F3	F	B	K	V	N	Cmm	TMV	TMV 抵抗性遺伝子型	Bバリア	○	○		○	9	1		○	○	○	Tm-2 ^a	ボランチ	○	○		○	9	3	○	○		○	Tm-2 ^a	グリーンガード	○	○	○	○	9	7	○	○		○	Tm-2 ^a	グリーンセーブ	○	○	○	○	9	7	○	○		○	Tm-2 ^a	グリーンフォース	○	○	○	○	8	7	○	○		○	Tm-2 ^a	プロテクト3	○	○	○	○	4	1	○	○		○	Tm-2 ^a	マグネット	○	○		○	6	5	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2	ブロック	○	○	○	○	6	6	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2	フレンドシップ	○	○		○	8	9	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2 ^a	バックアタック	○	○	○	○	8	6	○	○		○	Tm-2 ^a	アシスト	○	○	○	○	8	6	○	○	○	○	Tm-2 ^a	がんばる根 -11号	○	○		○	7	6	○	○		○	Tm-2	がんばる根トリパー	○	○		○	8	7	○	○		○	Tm-2	デュエット○	○	○		○	○		○	○		○	Tm-1/Tm-1	キングバリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Tm-2 ^a		穂	罹病性またはTm-1型	Tm-2型	Tm-2 ^a 型	台木					罹病性またはTm-1型		○	△1	×	Tm-2型		△2	○	○	Tm-2 ^a 型		×	○	○
品 種	F1	F2	F3	F	B	K	V	N	Cmm	TMV	TMV 抵抗性遺伝子型																																																																																																																																																																																																															
Bバリア	○	○		○	9	1		○	○	○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
ボランチ	○	○		○	9	3	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
グリーンガード	○	○	○	○	9	7	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
グリーンセーブ	○	○	○	○	9	7	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
グリーンフォース	○	○	○	○	8	7	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
プロテクト3	○	○	○	○	4	1	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
マグネット	○	○		○	6	5	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2																																																																																																																																																																																																															
ブロック	○	○	○	○	6	6	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2																																																																																																																																																																																																															
フレンドシップ	○	○		○	8	9	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
バックアタック	○	○	○	○	8	6	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
アシスト	○	○	○	○	8	6	○	○	○	○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
がんばる根 -11号	○	○		○	7	6	○	○		○	Tm-2																																																																																																																																																																																																															
がんばる根トリパー	○	○		○	8	7	○	○		○	Tm-2																																																																																																																																																																																																															
デュエット○	○	○		○	○		○	○		○	Tm-1/Tm-1																																																																																																																																																																																																															
キングバリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																															
	穂	罹病性またはTm-1型	Tm-2型	Tm-2 ^a 型																																																																																																																																																																																																																						
台木																																																																																																																																																																																																																										
罹病性またはTm-1型		○	△1	×																																																																																																																																																																																																																						
Tm-2型		△2	○	○																																																																																																																																																																																																																						
Tm-2 ^a 型		×	○	○																																																																																																																																																																																																																						

野菜類-なす科果菜類-なす-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名														
					うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	苗立枯病	褐紋病	黒枯病	褐色腐敗病	半身萎凋病	褐色斑点病	褐色円星病	フザリウム立枯病	アザミウマ類	チャノホコリダニ	
1	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
3	オーソサイド水和剤80		普	キャブタン	M4	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
6	ケンジャフロアブル		普	イソフェタミド	7	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	U17	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
9	ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メバニピリム	U13、9	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	スクレアフロアブル		普	マンデストロピン	11	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
11	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	スミブレンド水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.プロシミドン	10、2	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	スミレックス水和剤		普	プロシミドン	2	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
15	ダイヤモンドDF		普	1.イミノクタジン 2.ポリオキシシン	M7、19	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-
16	ダイヤモンド		普	1.イミノクタジン 2.フェンヘキサミド	M7、17	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
18	ドーシャスフロアブル		普	1. TPN 2. シアゾファミド	M5、21	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
19	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	1
20	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	トリフミン乳剤		普	トリフルミゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	ネクスターフロアブル		普	イソピラザム	7	○	○	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-
23	パルミノ		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
24	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	ピクシオDF		普	フェンピラザミン	17	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
28	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	○	○	○	○	-	-	○	-	-	○	○	○	-	-
29	フルピカフロアブル		普	メバニピリム	9	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	プロパティフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバ リカルブイソプロピル	M5、40	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
32	ポリベリン水和剤		普	1. イミノクタジン酢酸塩 2. ポリオキシシン	M7、19	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-
33	ベトファイター顆粒水和剤		普	1.シモキサニル 2.ベンチア パリカルブイソプロピル	27、40	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-

野菜類-なす科果菜類-なす-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	苗立枯病	褐紋病	黒枯病	褐色腐敗病	半身萎凋病	褐色斑点病	褐色円星病	フザリウム立枯病	アザミウマ類
34	ベルコート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	ベルコートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
36	ベンレート水和剤		普	ベンミル	1	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
37	ホライズンドライブフロアブル		普	1. シモキサニル 2. ファモキサドン	27、11	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
38	ポリオキシンAL水溶剤		普	ポリオキシン	19	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
39	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
40	ライメイフロアブル		普	アミスルプロム	21	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
41	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
42	ロブラール500アクア		普	イブロジオン	2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	-	○	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-

13-(10) なす（野菜類、なす科果菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項																																																															
苗立枯病	播種前 1. 資材消毒を行う。（資材消毒の項参照） 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 3. 播種時、適用薬剤をかん注する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発芽直後に床土の表面を乾かす。 																																																															
半枯病 青枯病 半身萎凋病 根腐疫病	播種前、植付前 1. 資材、床土消毒を行う。（資材消毒の項、土壌くん蒸剤の項参照） 2. 発病ほ場は土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 3. 太陽熱消毒を行う。（太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項参照） 4. 露地栽培の発病地では、輪作を行う。 5. 半枯病 土壌酸度を矯正し、pH (H ₂ O) 6.0~6.8に保つ。 6. 抵抗性台木に接ぎ木する。 ・台木品種の土壌病害虫抵抗性および耐病性 <table border="1" data-bbox="386 887 833 1565"> <thead> <tr> <th rowspan="2">台木品種</th> <th colspan="3">土壌病害虫名</th> <th rowspan="2">低温伸長性</th> </tr> <tr> <th>半枯病</th> <th>青枯病</th> <th>半身萎凋病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤ナス</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>赤虎</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>台太郎</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐病VF</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>トルバム・ビガー</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ミート</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>アシスト</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>カレヘン</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トレロ</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トナシム</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緋脚</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> 農業技術大系およびメーカー資料による。 青枯病における◎はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ菌群に、○はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ菌群に防除効果を期待できることを示す	台木品種	土壌病害虫名			低温伸長性	半枯病	青枯病	半身萎凋病	赤ナス	○			○	赤虎	○			○	台太郎	○	◎			耐病VF	○		○	○	トルバム・ビガー	○	○	○	○	ミート	○		○	○	アシスト	○	○		○	カレヘン		○	○		トレロ		○	○		トナシム	○	○	○	○	緋脚	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・青枯病、半身萎凋病等は、病原菌密度の高いほ場や、菌の系統が異なるほ場においては、接ぎ木しても発病する場合がありますので注意する。 ・半身萎凋病の対策として、前作にブロッコリーを作付け（栽培・収穫後、残渣すき込み）すると本病の発生が減少する。ただし、多発圃場では効果が劣ることから、発病拡大を未然に防ぐ予防的手段として導入する。 ・青枯病に対する抵抗性は、◎印の台太郎のみすべての菌群に、○印の品種はⅣ菌群を除く菌群に防除効果が期待できる。 ・半身萎凋病に対しては、トルバム・ビガー、トナシム、トレロが実用的な抵抗性を有している。 ・多段接ぎ木苗（台木：トナシム、中間台木：台太郎※）を利用することで、トナシム慣行接ぎ木苗より青枯病の発生が抑制される。ただし、多発圃場では効果が劣る場合もある。 ※中間台木の長さは4~5cmとする。 ・青枯病は芽かき跡などの傷口から病原菌が侵入する。 ・刃先を高温で自動除菌するハサミが市販されている。
台木品種	土壌病害虫名			低温伸長性																																																													
	半枯病	青枯病	半身萎凋病																																																														
赤ナス	○			○																																																													
赤虎	○			○																																																													
台太郎	○	◎																																																															
耐病VF	○		○	○																																																													
トルバム・ビガー	○	○	○	○																																																													
ミート	○		○	○																																																													
アシスト	○	○		○																																																													
カレヘン		○	○																																																														
トレロ		○	○																																																														
トナシム	○	○	○	○																																																													
緋脚	○		○	○																																																													
褐色腐敗病	生育期 1. 風雨による土の跳ね上がり防止のため、高畦にして排水をよくする。 2. マルチや敷きワラをする。 3. 窒素過多を避ける。 4. 下葉を整理し、通風をよくする。 5. 被害茎葉や果実は見つけ次第切り取り処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・露地栽培で多く、梅雨明け頃から多発し、被害は盛夏を過ぎた頃に大きい。また、本病罹病果実が出荷調製時に混入すると輸送中に発病するため注意する。 																																																															

各論作成日:2022年11月1日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期 1. ハウス、トンネル栽培では通風、換気を良好にする。 2. 全面マルチを行う。 3. 褐変した花卉を除去する。 4. 適用薬剤を散布する。(果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	
綿疫病	植付前 1. 窒素過多を避ける。 2. ほ場の排水を図る。	・梅雨期から夏にかけて多雨の際に発生が多い。 ・病原菌発育適温 28℃。
うどんこ病	生育期 1. ハウス、トンネル栽培では通風、換気を良好にする。 2. 適用薬剤を散布する。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	・同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので連用を避け、他の系統薬剤を併用する。 ・モレスタン水和剤の高温時の散布は薬害を生じやすいので避ける。 ・アミスター20フロアブル、ストロビーフロアブルへの浸透性展着剤(ニーズ、アプローチ BI 等)の加用は、薬害を生じやすいので避ける。
褐色斑点病	植付前 発病地やその周辺に植え付けない。 生育中 1. 窒素過多を避ける。 2. 被害茎葉や果実は見つけ次第切り取り処分する。	・梅雨時期と秋雨時期に発生が多く、降雨が続くと被害の拡大が急速である。 ・露地栽培で多く、梅雨明け頃から多発し、被害は盛夏を過ぎた頃に大きい。また、本病は果実の輸送中にも発生する。
褐色円星病	生育期 1. 肥料切れに注意し、樹勢を保つ。 2. 収穫後の罹病茎葉は処分する。	・秋口の降雨、肥料切れ、また低湿地で多発する。
褐紋病	植付前、生育期 1. 排水を良好にし、密植、窒素質肥料の過用をさける。 2. 適用薬剤を散布する。 3. 被害茎葉や果実は見つけ次第切り取り処分する。	・露地栽培で多く、梅雨時期に発生が増加し、被害は盛夏を過ぎた頃に大きい。また、本病は果実の輸送中にも発生する。
モザイク病 ・CMV ・TMV えそ斑点病 (BBWV)	生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. アブラムシ類を防除する。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	・モザイク病のCMVとえそ斑点病のBBWVは、アブラムシにより非持続伝搬され、種子、土壌伝染はしない。 また、収穫時のハサミなどで接触伝染することがある。 一方、モザイク病のTMVは接触伝染主体で、種子、土壌伝染もする。
ミナミキイロアザミウマ マメハモグリバエ ハダニ類	(ミナミキイロアザミウマの防除対策の項参照) (ハモグリバエ類の防除対策の項参照) (ハダニ類防除薬剤の特性の項参照) (防虫ネットによる防除の項参照)	・カスケード乳剤の散布は、「千両2号」、「みず茄子」では果実に薬害を生じやすいので避ける。 ・カスケード乳剤への浸透性展着剤(ニーズ、アプローチ BI 等)の加用は、薬害を生じやすいので避ける。
コナジラミ類	(コナジラミ類防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	

各論作成日:2022年11月1日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
ネコブセンチュウ	植付前 1. 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 2. は種前または定植前に適用薬剤(殺線虫粒剤)を使用する。 (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	
チャノホコリダニ	生育期 1. 早期発見に努め、少発生のうちに防除を徹底する。 2. 同一成分の薬剤の連用は避ける。 3. 天敵農薬スワルスキーカブリダニを放飼する。 (天敵農薬による防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none">・ 苗による持ち込みや、コナジラミ類の脚に取り付いて移動することがある。・ 雑草にも寄生するため、ハウス内やほ場周辺は除草する。・ 薬剤の付着しにくい生長点付近や若い葉に生息しているため、薬剤散布は丁寧に行う。・ 摘葉や摘芯後の残さは、チャノホコリダニの拡散を防ぐため ビニール袋等に入れ持ち出す。

野菜類ーなす科果菜類ーピーマン及びとうがらし類ーピーマンー殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病虫害雑草名								
						うどんこ病	灰色かび病	黒枯病	疫病	斑点病	斑点細菌病	炭疽病	菌核病	チャノホコリダニ
1	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	○	-	○	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	-	○	-	-	-	-	-	-	-
3	アミスターオブティフロアブル		普	1. TPN 2. アゾキシストロビン	M5、11	○	○	○	○	○	-	○	-	-
4	カスミンボルドー		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	○	-	-	-	○	○	-	-	-
5	カッパーシン水和剤		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	○	-	-	-	○	○	-	-	-
6	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	○	○	-	-	-	-	-	-
7	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	-	○	-	○	-	-
8	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	○	-	-	-	-	-	-
9	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	○	-	○	-	○	-	-
10	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-
11	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	-	-	-	-
12	パルミノ		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	○
13	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○	-	-	-	-	-	-
14	パンチョTF顆粒水和剤		普	1. シフルフェナミド 2. トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15	プロパティフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-
16	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	○	-	-	-	○	-	○	-	-
17	ポリオキシシンAL乳剤		普	ポリオキシシン	19	○	-	-	-	-	-	-	-	-
18	モレストン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	○
19	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	○	-	-	-	-	-
20	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	-	-	-	-	-	○	-

野菜類ーなす科果菜類ーピーマン及びとうがらし類ーピーマンー殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名													
						アブラムシ類	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	ミナミキイロアザミウマ	コナカイガラムシ類	マメハモグリバエ	アザミウマ類	コナジラミ類	タバコガ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	チャノホコリダニ	ネコブセンチュウ	タバコガ類
26	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-
28	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
29	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びインドキサカルブMP	22A	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
30	ニッソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
32	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-
33	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメトキン	34	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
35	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
36	プリロソソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプリロール	28	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
37	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
38	プレバソソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプリロール	28	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
39	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
40	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
41	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプリロール	28	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
42	ペリマークSC	抑制	普	シアントラニプリロール	28	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
43	マイトコーネフロアブル		普	ピフェナゼート	20D	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	マツチ乳剤	抑制	普	ルフェヌロン	15	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
45	マラソソ乳剤		普	マラソソ	1B	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
47	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
48	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－とうがらし類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						苗立枯病	うどんこ病	斑点病	斑点細菌病	疫病	炭疽病	黒枯病	灰色かび病
1	オーソサイド水和剤80		普	キャブタン	M4	○	-	-	-	-	-	-	-
2	オリゼメート粒剤		普	プロベナゾール	P2	-	○	○	-	-	-	-	-
3	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	○	○	-	-	-	-
4	カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	○	○	-	-	-	-
5	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	-	○	-	-	-	○	○	○
6	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	○	-	-	-

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－とうがらし類(ししとうを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						灰色かび病
1	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○

野菜類-なす科果菜類-ピーマン及びとうがらし類-とうがらし類-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名													
						アブラムシ類	タバコガ	アザミウマ類	オオタバコガ	コナジラミ類	ミナミキイロアザミウマ	コガネムシ類幼虫	ケラ	ネキリムシ類	タバコガ類	チャノホコリダニ	ハダニ類		
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アルパリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルパリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	オンコル粒剤5		普	ベンフラカルブ	1A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
8	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
11	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
14	プレバソソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリブロール	28	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェスロン	15	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○

野菜類-なす科果菜類-ピーマン及びとうがらし類-とうがらし類(ししとうを除く)-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						オオタバコガ	ハダニ類	アザミウマ類	アザミウマ類	アブラムシ類
1	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	○	○	○	○	-
2	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	-	○	○
3	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	-	-	○

野菜類-いちご-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名														
						アブラムシ類	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ワタアブラムシ	コナジラミ類	アザミウマ類	シクラメンホコリダニ	チャノホコリダニ	ネグサレセンチュウ	コガネムシ類幼虫	うどんこ病	
27	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
29	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
30	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
31	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びインドキサカルブMP	22A	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	ニッソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
34	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
35	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○
36	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
37	バロックフロアブル	抑制	普	エトキサゾール	10B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
39	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメトキン	34	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
40	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
42	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
45	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
47	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
48	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49	マツチ乳剤	抑制	普	ルフェヌロン	15	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
50	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
51	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
52	ラグビーMC粒剤		普	カズサホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-

13-(14) いちご（野菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期 1. 換気や循環扇の設置、ほ場の排水対策を行って、ハウス内の湿度を下げる。 2. 枯死葉や被害残さは、ハウス外に除去する。 3. 発病初期の防除を徹底し、適用薬剤のローテーション散布を行う。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	・「やよいひめ」は発病しやすいので注意する。 ・同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので連用を避け、他の系統薬剤を併用する。
うどんこ病	生育期 発病初期の防除を徹底し、適用薬剤のローテーション散布を行う。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	・乾燥と多湿の両条件で発病するが、夏季の高温期には菌の活動が低下する。 ・同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので連用を避け、他の系統薬剤を併用する。タンク水和剤は、高温時の薬害に注意する。 ・アミスター20フロアブルやストロビーフロアブルに浸透性展着剤(スカッシュ、アプローチBI、ニーズ等)を加用すると薬害を生じやすいので避ける。
炭疽病	植付前、育苗期 1. 健全な親株を確保し、土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) 2. 雨のしぶきを避けるため、雨よけによるベンチでのポット育苗が望ましい。 3. 管理作業(葉かき、芽かき、ランナー切り)や降雨直後に、適用薬剤を散布する。 4. ほ場内および周辺の除草、排水対策を行う。	・かん水や雨のしぶきなどにより分生子が飛散して病気が広がるため、なるべく粒子の細かいかん水チューブを使用する。
芽枯病	生育期 1. 密植や深植を避け、摘葉を行い通気を図る。 2. ハウス内の過湿を避け、換気を十分に行う。	・1~2月頃の多湿時に発病しやすい。
萎黄病	植付前、育苗期、生育期 1. 健全な親株を確保し、土壌と資材の消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項、資材消毒の項参照) 2. 購入培土による、ポット育苗の予防効果が高い。 3. 発病株は早期に抜き取り、ほ場外へ持ち出す。	・土壌や感染苗から親株が発病し、ランナーを通じて子苗に伝染する。
萎凋病	植付前 健全な親株を確保し、土壌と資材の消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項、資材消毒の項、パーティシリウム病対策の項参照)	・ネグサレセンチュウが発病を助長する。
根腐萎凋病		・養液、ロックウール栽培で特異的に発病することがある。
根腐病	植付前 1. 健全な親株を確保する。 2. 土壌水分が高いと発病が増加するため、ほ場の排水対策を行う。	

各論作成日:2022年11月1日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
疫 病	植付前、育苗期 1. 健全な親株を確保し、土壤消毒を行う。 (土壤くん蒸剤の項参照) 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. 排水対策を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・かん水や雨のしぶきなどにより病気が広がるため、なるべく粒子の細かいかん水チューブを使用する。
ピシウム根腐病	育苗期、生育期 1. 健全な親株を確保し、健全苗を育苗する。 2. 農業資材の消毒および土壤消毒を行う。 (土壤くん蒸剤の項参照) 3. 発病株は早期に抜き取り処分する。 4. 排水対策を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・かん水や雨のしぶきなどにより病気が広がるため、なるべく粒子の細かいかん水チューブを使用する。
黒色根腐病	育苗期、生育期 1. 健全な親株を確保し、健全苗を育苗する。 2. 農業資材の消毒および土壤消毒を行う。(土壤くん蒸剤の項参照) 3. 発病株は早期に抜き取り処分する。 4. 排水対策を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・株疲れや肥料当たり等で発病が助長されるため、適切な栽培管理を行う。
ネグサレセンチュウ	植付前 1. 土壤消毒を行う。(土壤くん蒸剤の項参照) 2. 土壤還元、太陽熱消毒を行う。 (ネグサレセンチュウの防除対策の項参照) (土壤還元消毒法による土壤病害虫の防除の項、太陽熱消毒法による土壤病害虫の防除の項参照)	
コナジラミ類	(コナジラミ類防除対策の項参照)	
ハダニ類	育苗期、生育期 ハダニ類は葉裏に寄生しているため、薬液が葉裏にかかるように丁寧に薬剤散布を行う。 (ハダニ類防除薬剤の特性の項、イチゴ害虫の天敵利用による防除対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤は続けて使用しない。
チビクロバネキノコバエ	生育期 成虫は有機物資材に誘引されるので、堆肥は完熟堆肥を適正量施用し、よく混和する。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼虫がクラウン部や根を食害することにより被害が生じる。 ・ロックウール栽培で発生が多く、多湿条件では土耕栽培でも発生する。
アザミウマ類	生育期 施設内および周辺の雑草は寄生植物となるため除去する。 (ミカンキイロアザミウマ防除対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・主にミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマが発生する。 ・多発してからの薬剤散布は効果が劣るので、発生初期の防除を行う。
ホコリダニ類	生育期 スポット的に発生するので、新芽や未展開葉に異常のある株が見られたら、被害が広がらないように早期に適用薬剤の散布を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・体長は0.2mm位のため、ホコリダニを肉眼で見つけることは難しい。 ・新芽や未展開葉が萎縮して正常に展開しなくなる。

野菜類－オクラ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						うどんこ病	葉枯細菌病	葉すす病	黒斑病	苗立枯病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	灰色かび病	ハダニ類
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-	-	-	-	-	-	-
2	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	-	-	-	-	○	-	-	-
3	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	-	-	-	-	-	-
4	銅パーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	-	-	-	-	-	-
5	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	-	○	-	-	-	-	-
6	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	-	-	-	-
7	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	○	○	-	-	-	-
8	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	○
9	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	-	-	-	-	○	-	-	-
10	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	-	○	-	-
11	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	-	-	○	-	-	○	-

【*1】 1.アゾキシストロビン 2.メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－オクラ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2022/11/1

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						アブラムシ類	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	カメムシ類	アザミウマ類	ネキリムシ類	ネコブセンチュウ
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-
2	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	-	○	○	-	-	-	-
3	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメリン	3A	○	-	○	○	-	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	○	-	-	-	-	-
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-
7	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-
8	ガードベイトA	抑制	普	ペルメリン	3A	-	-	-	-	-	○	-
9	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	○	-	-	-	-
10	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	-
11	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-
12	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-
13	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	○	-
14	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	-	-	-
15	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-
16	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンプロックス	3A	○	-	-	○	-	-	-
17	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	○
18	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	○
19	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	○	-	-	-	-
20	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	-	○	○	-	-	-	-
21	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	○	○	-	-	-	-
22	マトリックフロアブル	抑制	普	クロマフェノジド	18	-	-	○	-	-	-	-
23	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-

13-(15) オクラ（野菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
苗立枯病	播種前 1. 連作を避ける。 2. 排水を良好にする。 3. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 4. 播種時期に注意し、無理な早まきは避ける。 5. 地温を高めると発病が軽減されるので、播種直後から生育初期にかけてトンネルやべたがけ被覆を行い、地温を高めて発病を回避する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 播種後から生育初期にかけて発病する。 ・ 播種直後に発病すると、出芽前立枯れとなり、出芽しない。 ・ 本病は、ピシウム属菌およびリゾクトニア属菌の病原菌によって発病する。 ・ 地温 20℃未満の比較的低い地温の条件下では、オクラの初期生育に影響し、発病を助長する。
半身萎凋病	播種前 1. 連作やパーティシリウム病の宿主作物の作付けを避ける。（パーティシリウム病対策の項参照） 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照）	
ネコブセンチュウ	播種前 1. 連作を避ける。 2. ギニアグラス、ソルゴー、クロタラリアなど対抗植物を輪作する。 3. 適用薬剤を使用する。 4. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 5. 被害株は、根ごとほ場外へ持ち出し処分する。（ネコブセンチュウの防除対策の項参照）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作付け前に前作でのネコブセンチュウ被害の有無を必ず確認しておく。
メイガ類	生育期 発生が少ない場合は、捕殺すると防除効果が高い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月頃から発生が見られはじめ、8～9月に多くなる。 ・ 高温多照の年に多発する傾向がある。 ・ オクラのほかにフヨウ、ムクゲ、タチアオイなどアオイ科の植物によく発生するので、これらでの発生に注意し、発生時期を的確につかむ。
アブラムシ類	生育期 1. 発生初期から適用薬剤を散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 播種期～生育初期の被害が多い。 ・ 吸汁された葉は内側に巻く。 ・ 本葉3～4枚時に多く発生すると、生育が著しく抑制される。